

第3回 EISESiV & iSyMs合同シンポジウム

- AIとサイレントボイスが支える私たちのウェルビーイング -

私たちがまだ知りえていない情報“サイレントボイス”を聴くことにより、人々の暮らしや社会が豊かになることが期待されています。このシンポジウムでは、AIが加速する最先端“サイレントボイス”センシング技術で新たな情報がどこまで捉えられどこまで理解できるようになるのか、その情報を活用したAI研究開発でどのような最先端の医療や食の世界が拓かれるかなど様々な事例を紹介し議論していきたいと思ひます。

2024年11月18日(月) 14:00 ~ 17:00

主催 東京科学大学 総合研究院 集積Green-niX+ 研究ユニット
EISESiVコンソーシアム/集積システム材料産学連携コンソーシアム共催

東京科学大学 大岡山西講義棟1(レクチャーシアター)
Zoom 併用によるハイブリッド開催

下記サイトより事前登録をお願いいたします
<https://forms.gle/EuwSFJNDunzBBa3d7>

参加費無料

Institute of
SCIENCE TOKYO



プログラム

14:00~14:05	開会挨拶	仁科 博史 東京科学大学 総合研究院長 教授
14:05~15:05	基調講演	「臨床医学へのAI導入:研究立案から薬事承認まで」 浜本 隆二 国立がん研究センター研究所 医療AI研究開発分野 分野長
15:05~15:35	招待講演	「固体量子センシングによる生体電流イメージングの可能性」 荒井 慧悟 東京科学大学 工学院 電気電子コース 准教授
休憩 (10分:15:35~15:45)		
15:45~	EISESiV/iSyMsメンバーによる講演 [進行] 廣井 聡幸 東京科学大学 総合研究院 特任教授	
15:45~16:05	講演 1	「パーキンソン病の治療に向けた運動センシングとリハビリの創出サイクル」 三宅 美博 東京科学大学 情報理工学院 情報工学系 知能情報コース 教授
16:05~16:25	講演 2	「サイレントボイスを聴くための集積回路技術」 伊藤 浩之 東京科学大学 総合研究院 ナノセンシング研究ユニット 教授
16:25~16:45	講演 3	「超高感度計測を実現するバイオハイブリッドセンサ」 竹内 昌治 東京大学 大学院 情報理工学系研究科 教授
16:45~16:55	総合討論	[進行] 若林 整 東京科学大学 総合研究院 集積Green-niX+ 研究ユニット 教授
16:55~17:00	閉会挨拶	平本 俊郎 東京科学大学 総合研究院 特定教授 (東京大学 生産技術研究所 教授)
17:10~19:00	意見交換会	蔵前会館 大会議室 (会費 1,500円)

問い合わせ先
東京科学大学 総合研究院 集積Green-niX+ 研究ユニット
EISESiVコンソーシアム/iSyMsコンソーシアム事務局
email: knc.info@knc.titech.ac.jp



<https://www.knc.titech.ac.jp/eisesiv/>



<https://www.knc.titech.ac.jp/isyms/>